

“共存共栄”に向けて、 地域経済の活性化に注力 します



□ 「東日本大震災に係る特別相談窓口」を設置

今般の「東日本大震災」により影響を受けられたお取引先の相談にお応えするため、全本支店に特別相談窓口を設置いたしました。

あわせて、資金ニーズに速やかにお応えするために、「BCPサポートローン 震災影響対策プラン」を新設。「お取引先の被災により売上が減少した」「原材料や部品の調達が困難になった」「自粛ムードにより観光客が減少した」といったご相談や資金繰りを中心とする資金ニーズなど、お取引先の状況にあわせてサポートしています。

□ 観光による地域活性化を願って 「滋賀の魅力発信ファンド」を新設

滋賀県ならではの「自然」「食」「歴史」など地域資源を観光産業と結び、地域の活性化につなげようと平成23年5月、「滋賀の魅力発信ファンド」を新設しました。

「地域ブランドの魅力の向上」や「地域資源を活用した新商品・サービスの開発」などを積極的に取り組む事業者の皆さんを支援するもので、投資対象を観光事業に特化するファンドは、全国の金融機関で初めてです。

多くの観光客が訪れる長浜市・黒壁ガラス館(株式会社黒壁)に第一号案件として投資しました



□ 環境対応型融資商品で ニゴロブナとワタカを放流

琵琶湖の固有種で絶滅の恐れがある「ニゴロブナ」と「ワタカ」の稚魚各3万匹を、平成23年3月に琵琶湖へ放流しました。琵琶湖の生態系保全と湖国の食文化の育成を願っての取り組みです。

具体的には、「カーボンニュートラルローン 未来よし」のご利用実績をもとにお取引先の温室効果ガス削減量を当行が金額に換算、相当分を「ニゴロブナ・ワタカ放流事業」に毎年寄贈しています。

ニゴロブナの放流は平成19年度から4年間のべ12万匹にのぼります。ワタカの放流は今回が初めてとなります。



ニゴロブナは湖国の郷土料理「ふなずし」の原料です

□ 「大阪北法人営業部」をJR新大阪駅前に移転

平成23年6月3日に「大阪北法人営業部」(平成19年6月開設)を、梅田支店内(大阪市北区)からJR新大阪駅前に独立移転いたしました。

ビジネスマッチングやアジアビジネスサポートなど、お取引先のニーズにお応えするため、人員を増加し営業力も強化いたしました。

オープンを記念してテープカット
(右より大道頭取、Sky株式会社
大浦社長、吉井部長)

